



笛吹市

# 議会だより

平成19年7月24日発行

2007

Vol.11

GIKAI DAYORI

笛吹市役所に聞いてみました。  
先日、釈迦堂遺跡博物館に行ってきました。  
素晴らしい施設が市内にあるんですね。



FUEFUKI CITY



笛吹市

# 議会だより Vol.11

表紙 ..... 1

あんない・議会日誌・会期日程 ..... 2

荻野市長・行政報告 ..... 3

6月定例議会で決まったこと ..... 4～5

一般質問(10議員) ..... 6～12

    渡辺 清美議員   中川 秀哉議員   日高せい子議員

    大久保俊雄議員   杉岡喜美雄議員   野沢 勝利議員

    亀山 和子議員   渡辺 正秀議員   新田 治江議員

    前田 初男議員

議会だよりアンケート結果 ..... 13

委員会レポート ..... 14～15

笛吹市役所に聞いてみました/編集コラム・笛吹川 ..... 16

## あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



### 議会日誌 GIKAI diary

#### 3月 March

- 1日 釈迦堂遺跡博物館組合議会  
    峡東地域広域水道企業団議会
- 2日 全員協議会
- 7日～8日 各常任委員会
- 13日 市内中学校卒業式
- 13日～16日 各常任委員会
- 16日 通学区域検討委員会
- 22日 市内小学校卒業式
- 27日 東八代広域行政事務組合議会
- 28日 笛吹市総合計画審議会
- 29日 臨時議会
- 30日 石和温泉駅周辺整備事業検討委員会

#### 4月 April

- 1日 笛吹市消防団入退団式
- 4日 釈迦堂遺跡博物館組合臨時議会
- 5日 市内小中学校入学式  
    「風林火山」特別展オープニングセレモニー
- 6日 市議会議長会事務局長会議
- 10日 議会広報編集委員会  
    全員協議会
- 13日 山梨県市議会議長会定期総会
- 15日 川中島合戦戦国絵巻
- 17日 議会改革検討委員会  
    議会放映編集委員会
- 23日 笛吹市国際交流委員会
- 26日 学校給食センター運営委員会
- 27日 甲府熊谷線国道改修促進期成同盟会定期総会

#### 5月 May

- 7日 笛吹市経済懇話会定期総会
- 8日 議会改革検討委員会
- 10日 笛吹市植樹祭
- 14日 全員協議会
- 16日 千葉県一宮町議会来庁(議会広報視察)
- 18日 リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会総会
- 19日 笛吹市保育所連合会定期総会
- 22日 笛吹市文化協会定期総会
- 23日 笛吹市障害者家族会定期総会
- 25日 すずらんの里まつり  
    笛吹市商工会通常総代会
- 28日 石和温泉観光協会理事会
- 29日 笛吹市選出県議会議員意見交換会
- 31日 石和温泉観光協会総会

#### 6月議会・会期日程

- 6月8日(金) 全員協議会  
    開会
- ・本会議
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・提出議案の説明
- ・市長行政報告
- ・総括質疑・付託
- 6月11日(月)
- ・本会議 一般質問
- 6月14日(木)～15日(金)
- ・各常任委員会  
    付託案件・事件審査
- 6月21日(木) 全員協議会
- ・本会議
- ・各委員会審査報告
- ・質疑・討論・採決

## 幅広く市民の声を聞きながら、 主体性を持った行財政運営を進める

少子高齢化の到来、地方分権の推進、規制緩和の促進など、急激な変化に対応するため、今まで以上に主体性を持った行財政運営が求められています。本市のビジョンとなる総合計画の策定については、幅広く市民の皆様の声を聞きながら、策定に取り組んでいます。

### 市政当面の課題と報告

#### ① 石和温泉駅 周辺整備事業

「石和温泉駅周辺整備事業検討委員会」の検討結果を踏まえ、有利と思われる国の事業を活用するなど、将来の財政計画を踏まえながら進めていきます。

#### ② 友好都市交流関係

本年10月に笛吹市として最初の使節団を結成し、ドイツ・バート市訪問を準備中で、友好交流を続けていきます。

#### ③ 館山市との 災害時応援協定

千葉県館山市との協議が進み、7月6日に調印の運びとなりました。

#### ④ 国民保護計画

本年2月に県との最終協議を終了しました。住民への警報伝

達、避難指示を速やかに出すことを中心として計画しています。

#### ⑤ 旧峡東病院建物の 活用

分散しているセクションの集中化を行い、住民の利便性、事務事業の効率化、災害時の危機管理体制の確立など、一層の住民サービスを図るため、改修工事を行う予定です。

#### ⑥ 窓口サービスの改善

4月より日曜窓口業務を開設。甲州市との自動交付機による広域取得など、新たな市民サービスを開始しています。

#### ⑦ 市民活動支援

市民活動支援課を設置し、市民の参加、協働による豊かな地域社会の形成を目指し、自発的な活動や地域づくりなどの支援体制を進めます。

#### ⑧ 「地域福祉計画」 「障害者基本計画」 「福祉計画」

5年間、3年間の計画期間を設け、この計画に基づいて「普段から・笑顔で・ふれあう・共生のまちふえふき」を推進していきます。

#### ⑨ 児童福祉

御坂地区児童センターは来年度に開所予定です。石和第三保育所は指定管理による運営を始め、「完全給食」を試行的に実施しています。保育料の徴収基準の見直しや、多子世帯の保育料軽減の拡大も国に準じて行いました。

#### ⑩ シルバー体操 指導員がデビュー

養成講座修了者23人が、介護



自動交付機（本庁玄関）

予防事業「やってみるじゃん」協力員としてデビュー、指導員の増員と体操の普及を図っていきます。

#### ⑪ 妊産婦健康診査

出産世帯の負担軽減と健康管理を図るため、助成回数を5回に拡大し実施していきます。

#### ⑫ リニア実験線

試験走行から10年、技術は格段に進歩し、営業運転開始を平成37年とする目標が発表されました。市としての体制づくりや、地元への十分な説明と対策など、円滑な事業遂行に努めます。

#### ⑬ 生涯学習

生きがいや仲間づくりを目的とした講座、健康づくり・子育て環境などの課題を探る講座等、研究・学習機関と連携した講座の提供を進めます。

#### ⑭ 文化振興

「八田家書院で雛祭り」が開催されました。今後、市内の雛飾りの所在調査を行い、展示会に反映させていく計画です。

6月定例会における荻野市長の行政報告を要約したものです。

# 平成19年第2回定例会提出案件一覧表

賛成 反対

議案	種別	案件名	箆クヲ	正鶴会	清新会	新和会	公明党	共産党	無所属	可否
承認 第5号 ~10号	専決 処分	笛吹市都市計画税条例一部改正 平成18年度笛吹市一般会計補正予算(第10号) 平成18年度笛吹市老人保健特別会計補正予算(第6号) 笛吹市手数料条例一部改正								承認
		笛吹市税条例一部改正 平成18年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算(第7号)								
議案 第57号 ~63号	条例 改正	政治倫理の確立のための笛吹市長の資産等の 公開に関する条例一部改正 笛吹市いさわふれあいセンター条例一部改正 笛吹市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び 費用弁償に関する条例一部改正 笛吹市都市公園条例一部改正 笛吹市過疎対策のための固定資産税の免除に 関する条例一部改正 笛吹市芦川グリーンロッジ条例一部改正 笛吹市火災予防条例一部改正								可決
議案 第64号 ~71号	補正 予算	平成19年度笛吹市一般会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市老人保健特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市介護保険特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市公共下水道特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市簡易水道特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市温泉事業特別会計補正予算(第1号) 平成19年度笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産 区管理会特別会計補正予算(第1号)								可決
議案 第72号 ~76号		市道の廃止 市道の認定 東山梨行政事務組合理約変更 動産の取得								可決
		人権擁護委員の候補者の推薦								承認
同意 第7号	選任	教育委員会委員の任命								同意
請願 第1号	請願 審査	異常気象による災害対策や地球温暖化対策の 強化・拡充を求める意見書の提出を求める請願								採択
発議 第4号	意見書	異常気象による災害対策や地球温暖化対策の 強化・拡充を求める意見書の提出								可決

## ●教育委員に山田武人氏（選任に同意）

6月定例会で市長から教育委員に任命の同意を求められた山田武人氏について、議会は全会一致で同意しました。

住所 笛吹市一宮町中尾 1346番地  
氏名 山田武人  
昭和19年7月15日生

## ●人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者3名の推薦について、全会一致で承認しました。

住所 笛吹市境川町前間田 1650番地  
氏名 橋田 敏子

住所 笛吹市御坂町二之宮 2628番地2  
氏名 弦間 泉

住所 笛吹市芦川町中芦川 643番地  
氏名 芦澤 義男

### 動産の取得

## 消防自動車を購入

次のとおり契約することを全会一致で決定しました。

名称 日本機械工業株式会社東京営業所

代表者氏名

所長 坂口 実

1、取得する動産  
災害時対応特殊はしこ付消防ポンプ自動車

4、契約の方法  
事後審査型条件付一般競争入札

2、取得金額

1億5、015万円

5、仮契約日

平成19年6月11日

3、取得の相手方

住所 東京都八王子市

中野上町2-31-1

## 議員提出・意見書（要旨）

### 異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書

数十年に一度というレベル

の異常気象がこのところ頻発している。温帯低気圧が台風並みに猛威をふるい、それに伴う洪水や土砂災害、さらには集中豪雨や竜巻の頻発などにより、多くの人命が失われ、家屋や公共施設、農作物にも甚大な被害がもたらされている。また、海岸侵食の進行や夏の猛暑も例年化している。こうした異常気象や猛暑は、地球温暖化による疑いが濃厚である。

環境立国を目指す日本は、海岸保全や防災のための施策はもちろん、確実に地球環境を蝕んでいる地球温暖化を防止するための抜本的な施策を講じるべきである。

以上の観点から、下記の事項について強く政府に要望する。

記

1、集中豪雨等による災害に強い堤防や道路等の基盤整備まちづくりの推進と、海岸侵食対策を積極的に進めること。

2、集中豪雨や竜巻等の局地予報体制の充実のために、集中豪雨や竜巻発生短時間予測が可能なドップラーレーダーを、計画中のところ以外にも増やすと同時に、緊急避難ができる体制を確立すること。

3、学校施設や事業所等の屋上緑化、壁面緑化（緑のカーテン）のほか、環境に優しいエコスクールの推進、自然エネルギーの活用を組み合わせる教室や図書館等への扇風機やクーラー等の導入を積極的に進めること。

4、森林資源などのバイオマスや太陽光、風力、小水力などの自然エネルギーの積極的利用を進め、バイオマスタウンの拡大や関係の法改正に取り組むこと。

5、今国会で成立した「環境配慮契約法」を有効性あるものとするため、まず国・政府が率先して温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進を積極的に行うこと。

平成19年6月21日

（提出先）

内閣総理大臣  
国土交通大臣  
経済産業大臣  
文部科学大臣  
環境大臣

笛吹市議会議長

中村 善次

市民の声

6月  
定例議会

# 一般質問

6月定例市議会では、10人の議員が一般質問に立ち、17項目について市の考えをたきました。以下は質問と答弁を要約したものです。

渡辺清美議員	.....	6
中川秀哉議員	.....	6
日高せい子議員	.....	7
大久保俊雄議員	.....	8
杉岡喜美雄議員	.....	8
野沢勝利議員	.....	9
亀山和子議員	.....	10
渡辺正秀議員	.....	11
新田治江議員	.....	11
前田初男議員	.....	12

## 問 市財政の健全化対策示せ

### 答 集中改革プランに基づき推進



渡辺清美議員  
(公明党)

渡辺清美議員 夕張市の財政破綻を機に、国は従来一般会計のみを対象としてきた地方財政の判断基準を見直し、公営企業会計などを含む  
実質赤字比率。  
連結実質赤字比率。  
実質公債費比率。  
将来負担比率。  
の4つを基準とする新しい地方

財政健全化法を制定、19年度決算から適用される見通しである。今後公会計制度の改革、行政サービスの範囲や受益と負担の見直し、新しい基準による財政状況の公表などが求められるが、本市の財政健全化に向けての対応を問う。

荻野正直市長 新しい地方財政健全化法では、ご質問の4つの指数を公表しなければならぬ。本市は昨年3月に行財政改革大綱と集中改革プランを策定し、21年度までを目標に、定員の適正化、市税納入率の向上、事務事業の再編整理。

公共施設運営の見直し。

の4項目を掲げ、枠配分予算の導入、使い切り予算の見直しなどに取り組んでいる。財政状況の適切な把握と公表については、公会計改革研究会に参加するとともに、一般会計のバランスシートは市広報で、財政指標は新聞掲載により公表している。行財政改革の集中改革プランに基づいて、今後も市財政の健全化をさらに推進していく。

## 問 学校図書館の充実整備は

渡辺議員 公明党が推進した子供の読書活動推進に関する法律が平成13年に成立し、文科省は学校図書館整備のため14年度から18年度までに650億円を予算措置し、19年度からは5年間で1,000億円を予算化して、学校図書蔵書の増加と更新を

図り、図書館法の図書館標準の達成を目指している。本市の新しい取り組みを伺いたい。

## 答 全国トップレベルの読書環境

芦原正純教育長 市教委は読書環境の整備を重視して取り組んでおり、「朝の読書」全校実施は成果が上がっている。本市の児童生徒1人あたりの図書購入費は、全国でトップの山梨県の

中でも高く、全国平均より小学校で1,300円、中学校で1,200円超えている。

19年度の図書購入費は1,767万円、1人あたり2,671円になる。市予算のほか市内ボランティア団体からの永年にわたる浄財ご寄付による図書購入もあり、市内20校の図書館蔵書は21万冊を数えている。また6市立図書館の蔵書35万冊も学校と相互利用ができる。

## 問 指定管理施設の運営状況は

### 答 運営状況・報告は良好



中川秀哉議員  
(公明党)

公共施設や遊具等の事故防止安全管理体制はどうか。

3月に完成した笛吹川河川敷の観覧席は、どのような管理をするのか。

石川光次総務部長 33施設の指定管理施設から、条例に基づく運営状況の報告が適切になされている。

中川秀哉議員 3億8千万円の経費削減を目指して公共施設指定管理制度の導入後1年、18年度との比較で各施設の状況はどうか。  
指定管理施設の運営に対する市民の反応は、  
今後の指定管理の計画や変更はあるのか。

施設運営に対する市民の反応はおおむね良好である。福祉施設では市民の要望に応えた土日休日開館などサービスが向上し、温泉施設では利用時間延長、年末年始の営業日の拡大で利用者が増加している。境川・八代・



春日居の農産物直売施設では売り上げが昨年度を上回っている。21年度までに47施設に指定管理を導入する計画だが、住民のコンセンサスを十分に得て行いたい。現在指定管理している施設については、指定期間内のモニタリングや、事業報告に基づき経費節減とサービス向上について検証した上で、継続するか直営にするかを決定したい。

施設の安全点検、保守は指定管理者の重要な業務であり、通常時、緊急時の連絡体制を整えており、市も随時指導・監督している。公園の遊具は所管課独自にチェックしている。

河川敷の観覧席は河川法により市直営で管理していく。

## グリーン購入に市の方針は

**問** 中川議員 公明党が推進してきた「環境配慮契約法」が制定され、国や地方団体が環境負荷の少ないグリーン製品を購入することが求められている。具体的には電気や公用車の購入、ESCO事業、庁舎設計契約などが対象となる。

笛吹市のグリーン購入に対する考えは。

この取り組みの問題点の整理と改善策は。

**答** 実施しておりさらに検討していく

石川総務部長 環境保全率先行動計画マニュアルに基づき、グリーン商品のカタログによりイ

## 障害者の地域生活移行等の方策を問う

### バックアップ体制の構築を図る



日高せい子議員 (清新会)

**問** 日高せい子議員 本市では、本年3月に地域福祉計画、障害者基本計画、障害福祉計画が策定された。この計画の冒頭に、これらの計画は個人が人として尊厳をもって家庭や地域の中で、その人らしい安心のある自立した生活が送れるよう、社会連帯の考え方に立って策定されたと記述されているが、障害福祉計画は、障害のある人が地域で安心して暮らすことのできる支援体制の確立を目指しているものとして、重点的に取り組む施策に具体的数値目標が掲げられて

インターネットで購入し、事務用品、コピー用紙などグリーンマークのある物を使用している。対象品目も多く、実績の確認など事務の煩雑化も考えられるので検討していきたい。

いる。

福祉施設の入所者の地域生活の移行について。

入院中の退院可能な精神障害者の減少目標値。

福祉施設から一般就労への移行について。

これらの数値目標を実現していくための方策について伺う。

岡部敏朗福祉事務所長 障害者の福祉は、障害の有無にかかわらず生活できることが当たり前

の社会であるという「ノーマライゼーション」および「リハビリテーション」の理念のもとに

推進されている。これらの状況を踏まえ、市では障害者施策の

総合的・体系的な推進を図る障害者基本計画と、障害者自立支援法の規定に基づき障害福祉計

画を策定した。

この計画は、平成23年度を目標として、地域の実情に応じたサービスの数値目標を設定し、サービス提供体制の確保や自立支援給付、地域生活支援事業を円滑に実施するもので、

重点的に取り組む目標の一つ目の福祉施設入所者の地域生活への移行については、夜間や休日

に地域において共同生活を営むのに支障のない障害者・障害児に、グループホームを営む住

居等の整備支援や生活訓練、就労支援を行う日中活動の場の確

保など、地域での生活基盤を整備していく。

また、保護者も含め、相談支援や日常生活上の援助を行い、

緊急時の対応等、地域住民の支援が得られるよう生活のバック

アップ体制の構築を図り、対象入所者88人中、地域生活移行者

10人を目標値として進めていく。

入院中の退院可能精神障害者に対する地域生活への移行につ

いては、自立支援員を指定相談支援事業者等に対して配置を促

し、相談支援機能を強化し、日中の活動の場となる授産施設や

グループホームを営む住居や、共同作業所などの整備促進をし

ていく。さらに、地域で生活している障害者に対するサービス

を活用していくよう、各種在宅

サービスの実施における協力を、施設運営者に要請するなど、対象退院可能精神障害者数16人中、地域生活移行者数11人を目標値として進めていく。

福祉施設から一般就労への移行については、福祉的就労を支援している福祉施設に対して、職場適応援助者の人材育成を促し、就労コーディネート機能を

持った障害者就労支援担当者会議等の設置により、職業安定所

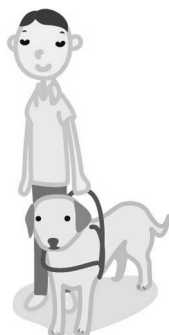
や県との連携で個別に応じた斡旋の対応を行う。さらに、円滑

な日常生活が送れるよう、地域生活支援との連携を強化し、一

般就労移行が可能な障害者数2人を目指したい。

地域住民や事業者、ボランティア団体などと協働し、この計

画を推進していきたい。



## 問 FMで市有財産の効果的活用を

答 FMを導入し市有財産の有効活用を図る



大久保俊雄議員  
( 笛政クラブ )

大久保俊雄議員 納税者の視点に立った行政の効率化、行政サービスへの充足、地域振興を願う質問する。市が所有するすべての土地、施設、設備を効果的に行政経営的な感覚で管理、運営していく手法「ファシリティー・マネージメント(FM)」は人、物、情報と並ぶ第五の資源として今後さらに重要性が高まる。指定管理者制度が導入されたが、本来の目的通り効率的に運営され、コスト削減につながっているのか、その効果は市民に十分示されているとはいえない。今後は職員にもFMに必要な知識と総合的な管理能力が求められる。老朽化した施設も見られ、これをどう維持管理していくかも課題である。市のFMへの取り組みの具体的方策は。

市の所有施設、特に土地の台帳は整備されているか。

道路整備等地域の要望に對しどのように市有地を有効活用していくか。

指定管理施設もふくめて施設情報の共有化、費用対効果の最大化、サービス向上の具体策は、

石川総務部長

合併により本

庁舎は手狭だが、支所には余剰施設も見られる。施設、土地の貸付など、新たな住民ニーズや高齢者施設への活用などのサービスも求められる。老朽化した施設の維持管理も課題であり、指定管理施設のコスト削減効果のモニタリングなど、今後総合的、長期的な視野に立つてFM導入への取り組みを図っていく。

県・市町村の共同研究会でも調査、研究を進めている。自治法改正によって庁舎、土地の貸し付けが可能となったが、通常の普通財産貸し付け、売却は担当課で、特別案件は検討委員会で検討する。

行政財産の台帳は整備されている。普通財産は現在整備中。

土地の地番、地目、面積は一覧で見られる。

管財課で管理している普通財産には100㎡以上の遊休地が約200筆あり、今後さらに確認し貸し付け、売買が可能かどうか調査する。

指定管理施設をふくめて施設の情報共有を図るため、インターネットで申込みができるシステムも必要と考えるが、市民の利用に支障が出ない範囲で検討したい。

## 問 道路、特に通学路の安全性確保を

大久保議員 石和温泉駅周辺の整備も進み、国道拡幅工事、大型ショッピングセンターの新設など、道路事情もここ一年で急変して危険箇所も増え、市への要望も増えている。市民、観光客の安全、とくに通学路の安全確保が急務である。

信号機、横断歩道、標識などの再検証、防犯パトロールの強化、交通安全教育等、どのような対策が講じられているか。また、保育園児から中学生まで幅広く保護者、地域住民、学校、行政との連携が不可欠である。年齢階層別事故ゼロに向けた具体的取り組みはどうか。

## 答 小学校全校で安全マップを作成

芦原教育長 安全な通学路の基本である安全マップはすべての小学校で作成済みであり、これをもとに教職員が定期的に通学路の安全点検をし、発見した注意箇所はマップに記入して、通学路の見直しをふくめ児童に周知している。

子どもたちを見守る組織やボランティアとしては、県から委嘱された2人のスクールガードリーダーが、市内各校を定期的に訪問して相談にのるとともに、通学路の安全を確認している。

## 問 桃の花まつりの総括と今後のあり方は

答 課題を検討し早期に情報発信



杉岡喜美雄議員  
( 清新会 )

杉岡喜美雄議員 「桃とぶどうの郷、甲斐の国千年の都 笛吹市」のキャッチフレーズで、4月1日から第3回桃の花まつ

700人を超える「安全見守り隊」などの市民ボランティアが、下校時の安全にご協力いただいている。また、昨年からは2台の青色パトカーが下校時の巡視を行い、各支所の放送施設により市民に注意を喚起している。子どもたちには防犯ブザーを全員に配布し、信号機、横断歩道の設置要望にも関係機関と協議している。保育園児にはほぼ毎月市の交通指導員による交通指導教室を開いている。年度末の3月には小学校に入学する児童が、保護者や交通指導員と実際に通学路を歩いて安全を確認している。

りが開催された。市全域がピンクに染められた絶景は最高の口グレーションであり、観光客も増加し、リピート率も上がっていると思う。市として花まつりをどのように総括しているのか。合併前はそれぞれの地域の特性を生かし、いわば点として開催されていたが、これからは点を結んだ線として行うことが望ま



れる。笛吹市を代表する桃の花まつりの、将来のあり方について考えを聞きたい。

桃の花まつりのPRは、市のホームページ、ガイドブックなど何種類か出しているが、マスコミへの対応はどういう形で行っているのか。

支所を回ったの検証結果、新しいことが生まれたのかどうか。甲斐国分寺をメイン会場にこの話もあつたが、駐車場とかアクセスに問題がある。隣の花鳥スポーツ公園は観光バスが10台以上入っても、乗用車100台以上の駐車スペースがあり、花鳥山への散策コースもでき、菜の花や季節の花、銚子塚の公園など素晴らしい環境である。今は点だが、花祭りと同化した線として考えてはどうか。

観光客へのアンケートや、対面調査は重要な情報源だと思うが、旧町村時代に出していたチラシは、市に一本化されているのか。

**保坂利定産業観光部長** 桃の花まつりについての反省や、これからの課題を把握するため、各支所から情報を収集し検証した。また、観光連盟役員会で各観光協会のご意見を伺い、今後の方向性を検討していきたい。

運営委員会の意見としては、駐車場

の不足、会場までの輸送機関の確保、十分な人員の確保などが挙げられている。今後のあり方だが、例えば祭り期間中、お花見会場として連続開催している一宮の甲斐国分寺会場をメイン会場として位置付け、そこに各地域のブース(区画)を設置する方法も提案されている。

しかし、高齢者や子供など、交通弱者のためには地域会場の必要性も求められ、検討課題である。この恵まれた資源を活用するため、年間スケジュールを早期に作成して情報発信していきたい。

祭りのPRは、笛吹市ホームページへの掲載、山梨日日新聞等新聞11社への広告掲載、テレビ神奈川、テレビ埼玉、千葉テレビのCM放映、FM富士などのラジオCM、「旅の手帳」など旅行雑誌6社への広告掲載、祭りのリーフレット18万枚を山日、読売、朝日、毎日各紙に折り込みした。このほか年間の観光スケジュールを掲載した市の観光ガイドマップがある。

過去2回の祭りを検証し、反省点を補っていききたい。風林火山の追い風もあり、各地とも予想以上の人出でどうしても駐車場の不足だった。これは今後の大きな反省点だと思う。観光イ

ベントを進化させ、一体化して観光戦略化していきたい。年間スケジュールを県内外に早期発信し、祭りの組織づくりをしつかりしていきたい。

## 問 企業立地と観光産業誘致促進を

### 答 県と連携し誘致に取り組む



野沢勝利議員 (正嶋会)

野沢勝利議員 優良企業の誘致は生き残りかけた自治体間競争の目玉であり、行政の企業へのアプローチがその成否を左右する。ここ数年工業団地への企業誘致は停滞し、撤退企業も相次いでいる。笛吹市の活性化にとって優良企業の誘致は緊急の課題だが、市の方針は。

県は企業立地推進室を設置し、奨励金を出すなど誘致に力を入れている。市との連携はどうか。観光政策はそれなりの成果は出ているが、家族連れで子供たちが楽しめる施設がないことが課題である。四季を通じて誘客

アンケートや、生の声を聞く機会をつくっていきたい。チラシの配布は従来どおり行っている。

できる観光企業、施設の誘致に對する考えはどうか。

風林火山ブーム以降の観光戦略をどう考えているのか。

荻野市長 市の企業立地推進事業助成金交付要綱により、19年度は1社に助成金を交付、20年度も2社が対象になっている。今後も企業誘致には積極的に取り組んでいく。

市の助成要件として、県の産業集積促進助成金の交付要件に該当することがある。県の企業立地推進室と連携し、情報の提供および協力を行っていきたい。果実がない冬期は観光客が落ち込む現状だが、年間を通して誘客できるような観光施設は必要であり、アプローチしてくる企業があれば、内容を確認して検討していきたい。

風林火山を追い風に、6月23日の圏央道供用開始を踏まえ、

北関東地域への観光プロモーションを促進し、来年4月から6月にかけて行われる「ディスプレイショー」への対応に重点を置いていきたい。「桃とブドウ日本一と温泉の郷」のさらなるPRを進めたい。

## 問 渋川改修工事と滞水解消工事の状況は

### 答

野沢議員 石和の富士見地区は渋川の氾濫により大きな被害を被ってきた。濁川・平等川との合流点にある排水機場は老朽化して排水能力が低く、消防に管理を委託しているが、手動でなければ稼働できない状態である。排水機場設置の経緯と、改修計画の有無はどうか。

県の渋川改修工事と、市の水路工事の進捗状況、昭和60年代の峡東下水道浄化センター建設に伴う樋管改修工事の目的と経緯を聞きたい。この地域の水害防止の抜本的解決について昨年県にも要望したが、その後の経過を伺いたい。

## 答 地域の安全のため早期改修に努めたい

荻野市長 県の渋川の改修工事は、平成21年の清流公園の最終点まで完成の予定で進めており、

今年度末には石和西小学校前まで完成予定で、現在進捗率は86%である。市の改修工事は平成16年に今井川の改修に着工し、18年度末は県道白井河原線交差点まで471mが完成、進捗率は41%である。

峡東流域下水道浄化センター建設に伴う改修工事は、大雨が降ると伏越水門では処理しきれず、地元の要望により県が改修工事を行い、昭和61年に完成している。

昭和3年に完成した洪川潜管工事により日常の排水は事欠かないが、降雨量が多い時には呑み切れず、冠水が免れないため昭和21年に150馬力の排水機場を設置、昭和26年には護岸工事を、昭和32年には排水ポンプを電動からディーゼル式に入れ替え、オーバーホール、部品交換、修理をして現在に至っている。関係機関に要請して早期改修整備に努力していきたい。県への要望書に対しては、まだ具体的な指針は示されていないが引き続き早期実現を要望していきたい。

**問** 指定管理制度導入後の検証と今後について問う

**答** 市民の声を反映した運営がなされている



亀山和子議員 (日本共産党笛吹市議団)

亀山和子議員 昨年4月から温泉施設や公園、福祉センターなど、多くの公共施設に指定管理制度が導入された。市民が日常的に頻りに利用する温泉施設や公園などの清掃・管理面について伺う。

公園は子どもたちの安全・安心な遊び場であり、市民にとっては憩いの場だ。指定管理制度導入後も、清掃・管理が十分に引き届いているか。市民の声がよりよい管理に反映されているか。

温泉施設の利用時に、入場料金を払うと入場券が発券されるのが通常だが、発券されない状況を市では把握しているか。

公立保育所、児童館、学童保育への指定管理について、今年4月から指定管理になった石和

第三保育所を除き、市の度重なる説明会説得にもかかわらず、市民の理解が得られず、新たな公募も行っていない。財政的なメリツトもなく、これらの施設への指定管理導入をやめるべきだ。

石川総務部長 平成18年度の指定管理制度導入施設は、温泉施設3カ所、教育文化施設6カ所、福祉センター4カ所、児童館1カ所、直売加工施設5カ所、公園6カ所、情報施設1カ所、衛生施設1カ所、その他6カ所の計33施設。

施設を所管する担当部署が適宜確認指導を行い、年2回のモニタリングでの総合的な確認指導、年度終了時に事業報告書での実績を確認している。必要に応じ不法投棄防止対策を行い、美観の保持に配慮しており、清掃管理は行き届いている。

指定管理制度の導入は、民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上実現が目的である。全体として市民の声を反映した

運営がされていると考えている。指定管理の温泉施設は3カ所あり、券売機や発券機で対応している。施設利用中は券を携帯していただいており、帰りに入館券入りに回収している。3施設ともすべての利用者に対し発券され、それぞれの施設において入館者数が日計にカウントされているが、聞き取り調査では一部の入館者が受け取りを断ったケースがあると聞いており、確実に渡すよう指導していく。

石和第三保育所は、保護者の期待に応えるよう、更なる保育サービスの充実を図っている。境川児童館・学童保育室は従来から民間に運営委託をしており、指定管理移行後も、地域や保護者から信頼される児童館運営が行われている。今後、他の公立保育所等への指定管理導入については、行政改革大綱に基づき、保護者のニーズを的確に把握しながら、地域を含め十分な話し合いをしながら進めていきたい。

**問** 学校教育について  
の见解を伺う

亀山議員 教育基本法に続いて、学校教育法、教員免許法、地方教育行政法の改定が審議されている。この教育三法の改定について、教育長の见解を伺う。

4月24日に行われた全国一斉学力テストへの参加は、法令上従う義務はなく、参加・不参加は地方が自主的に決めるべきである。今回の学力テスト参加について、教育委員会でのように検討・論議されて参加したのか伺う。

**答** 学力状況を把握し  
施策を講じていく

芦原教育長 教育三法の改正案の基本は、すべての子どもたちに教育を受ける権利を保障し、高い水準の教育を受けられる保護者の願いに立脚したもので、国民の期待する教育が行われるよう、制度・法律を整備するものであると理解しており、慎重かつ関心をもって法案の推移を見守っている。

学力テストは国全体の状況把握だけでなく、教育委員会や個々の学校が、課題を把握して将来に向けて改善を図ることが主な目的だ。市教委として導入したものであり、学校教育は必要性目的、理想など、さまざまな要素が組み合わされて成り立っている。

社会を生き抜く上で基礎となる学業の習得、さらに学力の向上が第一のものであるとの見地から、テスト結果がいたずらに

学校間、児童生徒間の競争をおおることなく、各個人の成績がどのようなか正しく把握することが大切だ。

市教委としても、テスト結果

## 問 国民皆保険・国保を守る 決意を問う

### 答 滞納減らし国保会計の健全運営を



渡辺正秀議員  
(日本共産党笛吹市議団)

を通して学力の状況を把握し、将来を担う子どもたちの学力の底上げのため、できる限りの施策を講じていきたい。

渡辺正秀議員 病気の時ぐらい貧富の差なく、安心して医療を受けられる国民皆保険制度として確立した国保制度だが、格差と貧困の拡大、高すぎる保険税、制度に対する認識低下などにより滞納世帯が増え、滞納世帯への資格証発行や保険証留め置き措置などで国民皆保険制度が崩れている。

17・18年度の国保税収納率、滞納世帯数、短期証発行数、資格証発行数は、

滞納原因究明のために、地域

別、世帯主年齢構成別、所得階層別のデータは出しているか。

病人、子供、老人にすべて正規の保険証を交付しているか。高すぎる保険税に対して、国保法第75条により一般会計からの補助が必要だと思いが。

借金して保険税を納めたり、多重債務で滞納するケースが増えている。「多重債務者生活相談室」を設ける考えはないか。

加藤寿一市民環境部長 国保税の収納率は17年度89・64%、18年度89・92%。滞納世帯は17年度末3、707世帯、18年度末3、958世帯となっている。短期証交付は17年度1、028世帯、18年度1、291世帯。資格証明は交付していない。

現在は被保険者個人管理を中心としたシステムであるが、滞

納世帯の年齢階層別状況は、集計して国に報告している。世帯ごとの所得情報は、窓口での納税指導に活用し、滞納者もリストアップしている。今後はさまざまな角度から、滞納原因を分析したい。

毎年度4月1日に納税世帯には1年間有効の保険証を、滞納世帯には1カ月間有効の短期証を交付する。短期証の方に納税指導を行い、分納されれば新たな短期証を、完納時には通常の保険証を交付している。資格証明を交付してはならない法の規定(災害・老健法)があり、1年間の保険証または滞納がある場合は短期証を交付している。

国保法75条による一般会計からの補助はあくまで国・県・市町村の負担基準により行うものであり、人件費・事務費、出産一時金への補助、低所得者や高齢者が多く負担能力が著しく不足している場合などに限定されている。

多重債務者の相談業務は、国保税以外の原因もからんでいるので、国保単独で実施すべきものか、また設置の費用対効果も検討課題である。厚生労働省が全国5都県で実施するモデル事業の成果も踏まえて検討したい。

## 問 釈迦堂遺跡博物館は学校教育に活用を

渡辺議員 全国屈指の縄文遺跡である釈迦堂遺跡博物館の学校教育での利用状況は、屋外体験コーナーなどを充実してはどうか。

### 答 学習、野外活動の利用拡大に努める

芦原教育長 合併前の小・中学校9校に対し、合併後は38校が歴史学習の場として活用している。しかし17・18年度の団体利用状況は合併以前とほぼ同じなので、19年度は、

校長会を通じて授業での博物館利用を依頼、出前教室も実施して博物館を周知する。小学生の無料バスポート配布の復活。土偶作りなどの講座を増やし、予約なしで来館する子供にも対応。

この結果、5月の連休中に約600人の子供が利用した。学校教育の利用も増加している。19年度は博物館組合で縄文時代の食事づくりやアドベンチャーキャンプ、周辺の自然や文化財を巡るウォークラリーなど、野外で縄文人の生活を体験する企画を立てている。

## 問 廃棄物最終処分場への住民意見の再確認を

### 答 説明会の開催を含め 県に積極的働きかける



新田治江議員  
(清新会)

新田治江議員 現在、甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合が

立ち上がり、6月から地質・周辺環境などの概況調査に入った。地区住民、地権者に対して環境アセスメントに入るチラシが配られ、県において最終処分場に関する概況調査をし、秋ごろには候補地として適切かの調査結果が出される。

候補地として適切か検討する



ことも必要だが、そこに住む地域住民の理解・合意・納得がもっとも大切だ。上寺尾の応募により話が進められているが、今なお不安の声があるのが現状で、区民からも不安の声が寄せられている。最終処分場への地域住民の理解を深めるための説明会など、市、県の対応をお願いしたい。

**加藤市民環境部長** 県が計画している廃棄物最終処分場整備事業は、2月8日に上寺尾区から最終処分場の候補地にかかる応募書の提出があり、市は議会への説明等必要な手続きを行い、3月27日に知事に対し応募書を提出した。

この応募書の提出を受け、峡東地区整備検討委員会で最終処分場の候補地として検討を行っていくこととし、検討のための基礎資料を作成する概況調査の実施を決定した。

上寺尾区は農業従事者の高齢化やイノシシの被害により、農地が荒れ始めて苦労されている状況で、地域振興施設の建設を核として、寺尾地区全体の開発につなげていきたいとの住民の要望があった。市としても広域的ごみ処理施設や、廃棄物最終処分場の誘致という苦渋の選択をした。

市民の声  
一般質問

県および環境整備事業団では地元への理解を深めるため、計13回に及ぶ説明会を開催するとともに、先進地視察も実施した。上寺尾区が実施した最終処分場に関するアンケート調査では約90%の賛成が得られたという結果だが、最終処分場に対する住民の理解を深めるため、地質・

.....

問  
石和温泉駅舎建設と  
周辺整備事業を問う

答  
まちづくり交付金事業の  
採択を受け検討



前田初男議員  
(新和会)

前田初男議員 石和温泉駅周辺整備事業検討結果報告書(案)が示されたが、石和温泉駅は築70年が経過し老朽化が進んでいる。笛吹市の玄関口として改築が必要でこれを進めるべきだ。しかし、多額の事業費がかかり、合併特例債を使っても市の一般財源からの支出も必要となる。北口開発、散策道路、温泉活用施設など、駅周辺整備事業は

環境影響調査等について十分な調査期間を設け、4市で行う広域のごみ処理施設と同じエリア内であることから、寺尾地区全体の意見を聞き、安全性を最重要視した施設建設を目指すため、説明会等の開催を含め、県にも積極的に働きかけを行いたい。

合併特例債の期限内で、まちづくり交付金も事業費に対して最大40%の交付を受けられ、5年間で事業を終わらせることになっている。市の財政を考え、石和温泉駅と周辺整備事業は切り離し、段階的に検討してはどうか。

荻野市長 駅舎建設と周辺整備事業は多額の事業費が必要になることから、報告内容を基本として、慎重に取り組みを進めていきたい。  
駅舎の改修とともに北側国道140号からのアクセス道路や駐車場の整備など、いくつかの懸案事項や課題があり、関係機

関との協議を重ね、対応していく考えで、国のまちづくり交付金事業の採択を受ける中で進めることを検討している。  
「都市再生整備計画」を作成し、国の採択を受けることができれば、対象事業費の最大4割の交付金を受けられるが、事業採択後3年から5年以内の終了が前提のため、5年間という期間しかない。

事業期間を第1期と第2期に分けて実施することも可能だが、第1期の事業評価を行ってから改めて第2期の計画を策定することとなる。

この取り組みについては、関係機関との協議を進め、議会にも報告・説明をしながら進めていきたいと考えている。

問  
山梨百名山  
市内9山の整備は

前田議員 山梨百名山の制定から10年、市内にはそのうちの9山があり、どの山からも富士山が眺望できる。これらをPRしながら、春の新緑、秋の紅葉の季節まで登山客の誘客を図りたいかがが。

最近はいキング・ブームだが、山の案内板、はいキングコースの整備、またガイドの育成も大事だ。当局の考えを伺う。

答  
9山統一したサイン  
笛吹市の名を入れる

保坂産業観光部長 市内には黒岳、釈迦ヶ岳、節刀ヶ岳、大栃山、達沢山、春日山、滝戸山、兜山、大蔵経寺山の9山があり、それぞれにはいキングコースを設定している。

昨年秋にコースの状況確認を行ったが、旧町村時代の道標が設置されており、十分ではないがルート案内には不都合はない。しかし、腐食や文字が薄い等の道標もあり、建て替えの折には9山統一した笛吹市のサインとして、名前を入れていきたい。

コースの整備や草刈り等は、地元行政区や共有林組合などと委託契約を結んだり、業者委託により実施している。

ポランテア・はいキングガイドの育成は、市内の登山愛好家等に呼びかけ、現在行っているポランテア観光ガイド育成とあわせて行っていきたい。「観光登山ガイド隊」(仮称)を市民から募り、コース案内サインとエージェントにもPRを行い、誘客につなげていきたい。なお、山梨百名山のコース案内として、「笛吹市トレッキングガイド」を作成し、支所、市内観光案内所に置いた。

# 笛吹市議会だよりアンケート結果(最終)

昨年の笛吹市議会だより第8号でお願いしたアンケート調査の最終結果がまとまりました。  
回答数は427通で、皆様から寄せられました意見・要望についても掲載させていただきました。

## 問1 市議会に関心がありますか。

- ・ある = 307人
- ・多少ある = 80人
- ・あまりない = 16人
- ・ない = 10人

## 問2 議会だよりを読んでいますか。

- ・毎回読む = 315人
- ・ときどき読む = 72人
- ・あまり読まない = 12人
- ・読まない = 7人

## 問3 議会だよりの中で、最も興味がある記事はなんですか。

- ・定例会で決まったこと = 140人
- ・代表・一般質問 = 276人
- ・委員会レポート = 34人
- ・笛吹市役所に聞いてみました = 33人
- ・その他 = 12人

## 問4 市議会のどんな情報を知りたいですか。

- ・議案 = 112人
- ・代表・一般質問 = 176人
- ・委員会の活動 = 179人
- ・その他 = 19人

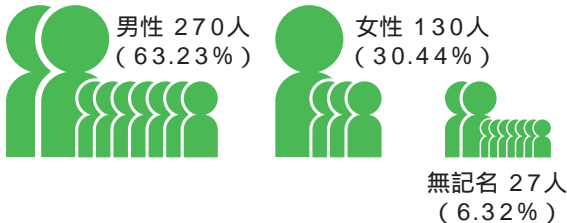
## 問5 議会だよりの字の大きさや、記事の配置等、読みやすさはいかがですか。

- ・読みやすい = 160人
- ・まあまあ読みやすい = 215人
- ・あまり読みやすくない = 22人
- ・読みにくい = 7人

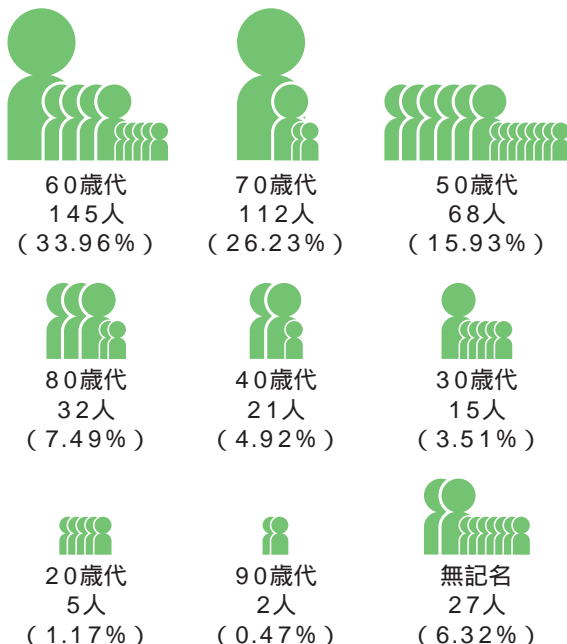
## 問6 議会だよりのほか、市議会に関する情報は、インターネットの笛吹市ホームページにも掲載しています。ご覧になったことがありますか。

- ・ある = 80人
- ・ない = 285人

## 男女別内訳



## 年代別内訳



皆さんから寄せられた議会だよりに対するご意見・要望について、おもなものをまとめました。より良い議会だより発行に向け、今後の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

## 意見・要望(抜粋)

- ・いつも情報源として読んでいる。大変読みやすい。
- ・議会だよりを読むことで、市の動き、市議会活動の様子がよくわかる。
- ・予算の無駄、廃止すべきだ。
- ・ほとんどの人は読んでいない。関心のある人が見れば良い。
- ・わざわざ議会だよりを発行する必要はあるのか、広報の中に入れてら十分。
- ・写真などが増えて以前よりはかた苦しい感じはしなくなったが、親しみやすくしてほしい。
- ・写真やイラストをもう少し入れた方が読みやすいと思う。表紙も工夫した方が良い。
- ・カラー印刷は経費の無駄、モノクロで十分である。その分内容の充実を
- ・もっと内容を整理して頁数を減らした方がよい。経費節減のため全ページ墨一色で印刷すればよい。
- ・議会で決まったことを表にしてほしい。
- ・一般質問は議員別ではなく、項目別にした方が分かりやすい。たとえば、教育、土木、観光、農業など。
- ・質問者の意見を簡略化せず、正確に書いてほしい。
- ・代表質問・一般質問の重要項目は、経過報告及び結果をのせてほしい。
- ・委員会活動、組合議会など様子を知りたい。

## 総務 常任委員会

付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および条例改正4件、規約の改正1件を審査し、全議案を原案どおり可決した。

- 一般会計補正予算(第1号)
- 政治倫理確立のための笛吹市長の資産等の公開に関する条例の一部改正
- 笛吹市特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部改正
- 笛吹市過疎対策のための固定資産の免除に関する条例の一部改正



訓練の成果を披露する消防隊員

### おもな質疑

総務部所管

- ・ 笛吹市火災予防条例の一部改正
- ・ 東山梨行政事務組合規約の改正

Q 旧峡東病院は、市民からも利用したいとの要望がある。

A 市民の要望に心えるべく検討していく。

経営政策室所管

Q 市の循環バスの状況は、境川、一宮の2地区で実施

しているが、交通不便地区3路線について試行運転を検討中。

消防本部所管

Q 職員の退職で、人員が少なくなっているが不都合はないか、有事の場合は大丈夫か。

A 通常勤務では問題ない。消防団との連携も考え、あらゆるパターンで合理的、効率的な面を模索し、検証している。(要望)

公平な課税のため、未納者に対し強い姿勢で望んでいただきたい。

## 教育厚生 常任委員会

付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および特別会計3件、条例改正2件を審査し、全議案を原案どおり可決した。

一般会計補正予算(第1号)

### おもな質疑

保健福祉部所管

Q 人件費の補正額が大きく増えている内容は、

A 支所に所属していた保健師を、4月より健康づくり課の配置にしたため、30人分の人件費補正増を行った。

Q 支所の保健業務は、連絡等がスムーズに行われているか。

A 本庁からの直接連絡のほうに、支持が伝わりやすいための改編である。

市民環境部所管

Q 環境対策費の環境施設事業費の事業内容説明を。

A 旧石和町の時代、富士見地区10区に対する、甲府市ごみ焼



境川町寺尾地内ごみ処理施設建設候補地を視察

却場環境整備事業に伴う継続事業として、各区3千万円の土地開発基金があり、恵比寿区以外の9区に対して、土地購入経費として使用されるものであり、土地購入に経費がある場合は、一般会計において残額の範囲内で整備事業費として支出することになっている。今回は、井戸区で取得した土地の造成工事費として計上したものである。

教育委員会所管

Q 学校の生ごみ保管施設を撤去し、処理委託で予算計上しているが、生ごみ処理機を各地区に設置しているごみ減量課との横の連携は。

A 従来の半額以下で堆肥処理できる団体があり、委託するものである。



## 建設経済 常任委員会

付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および特別会計4件、条例改正1件、市道の認定、廃止各1件、請願1件を審査し、全議案を原案どおり可決した。

### おもな質疑

産業観光部所管

**Q** 市のバイオマスタウン構想策定のスケジュール、報告書作成について説明を。

**A** 本年8月に策定し、がんばる地方応援プログラム等の交付金を申請しながら、来年から事業展開していきたい。

**Q** かがいふれあい農園整備の区画面積、区画数は。

**A** 1区画30平方m、72区画を整備する。

(要望)

今後、駐車場やトイレ整備、水源の確保を考えてほしい。

建設部所管

**Q** 近津ふれあい公園の維持管理に、指定管理者制度を導入する考えはあるか。

**A** 公園の管理は今後、まちづくり整備課が行い、また地域と無償の管理協定を結んでいるので、指定管理は考えていない。

**Q** 今回の土木関係予算補正で地区からの要望事項にはどのくらい対応できるのか。

**A** 今後、各支所担当とのヒアリングを行い、公平性、緊急性を考慮して決定していきたい。(要望)

市営住宅漏水事故の経緯について、委員会に最終的な報告をしてもらいたい。

公営企業部所管

**Q** 下水道加入率は上がっているのか。

**A** 5月末で水洗化率72・5%、普及率は51%であり、今後も普及に努めていく。

**Q** 水道料金等の未納問題は。

**A** 部の全職員で戸別訪問を行い、滞納整理に当たるよう検討している。おつて検討結果を報告したい。

## 視察研修報告

### 笛吹市選出県議会議員との 意見交換会

5月29日、笛吹市選出の前島茂松、中村正則、山下政樹 3県議会議員と、市議会議員による意見交換会を開催しました。各県議会議員の県政に対する考え方や、リニア推進対策、高校改革・統合問題、交通基盤・スポーツ施設整備等に対する活発な意見交換が行なわれました。



県議との意見交換会



リニューアルした富士急行線河口湖駅

### 石和温泉駅周辺整備に伴う 現地及び先進地視察

駅舎建設や北口広場開発などが計画されている石和温泉駅周辺整備事業に伴い、6月12日に石和温泉駅舎や駅北口周辺の現地視察を、18日には竜王駅周辺整備事業を進める甲斐市役所や、平成18年7月にリニューアルした富士急行線河口湖駅を訪問し、先進地視察を行いました。

先日、釈迦堂遺跡博物館に行ってきました。  
素晴らしい施設が市内にあるのですね。



## 笛吹市役所に聞いてみました。

**Q** 笛吹市が合併してから、初めて子どもたちと一緒に釈迦堂遺跡博物館に行きました。笛吹市内の施設とは知らずにいったのですが、素晴らしい土器や、かわいらしい土偶に魅せられてしまいました。

**A** 釈迦堂遺跡博物館は、笛吹市と甲州市の組合立です。中央自動車道建設に先立って調査され、多量の土器、石器が出土しました。縄文遺跡の中でも、全国有数の土器量で、調査時から全国的に注目を浴び、国の重要文化財に5,500点以上が指定されているんですよ。

**Q** 子どもたちの学習拠点としても、たいへん役に立つ施設だと思います。学校教育にも活用するのですか。

**A** はい、授業で博物館を利用したり、出前教室なども計画しています。小学生の無料パスポートや、土偶づくりなどの講座、絵画展や演奏会、夏には星の観測会なども行う予定です。野外で縄文人の生活を体験するなど、楽しい企画も立てたいですね。



市役所に聞きたいことをぜひ送ってね！

### 編集委員会よりお知らせ

笛吹市に関する疑問や聞きたいこと、日ごろ感じていることなどを、ぜひお寄せください。編集委員会では、市民の皆様のご意見を大切に、今後の議会活動に役立てていきたいと思っております。

送先  
〒406-8555  
笛吹市八代町南917 笛吹市役所八代分庁舎  
笛吹市議会だより編集委員会あて  
TEL 055-265-2112(直通)  
FAX 055-265-1101

移転しました。  
議会事務局が



### 議会を傍聴しませんか

笛吹市議会第3回(9月)定例会は、9月6日より27日まで、八代分庁舎議場で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

梅雨に入ったとはいえ、暑い日が続く、水不足が心配される今日このごろです。環境破壊は私たちの暮らしや、生き方にも警鐘を鳴らしていますが、人がこの地球という星を、どう導こうとしているのか、この願いによって、地球の未来は変わってくるはずですよ。

市の財政にも影響・・・？

市の財政は、市民の税金と国からの交付税でやりくりしています。笛吹市でも税金の滞納が増え、市は滞納対策として収税課を設置。学校現場においても給食費未納で先生たちが苦労しています。市民が公平にサービスを受けるために、市民の義務・できることを考えてみましょう。

一人ひとりが責任を果たすことで、笛吹市の未来があります。笛吹市は、みんなで築き上げていくものではないでしょうか。

先日、バラの花をお風呂に入れました。気分が変わり、リフレッシュ。その日、一日の疲れをいやすちよっとしたことが、人に活力を与えてくれることに気付きました。あなたもリフレッシュを・・・

(新田治江)



笛吹市議会だより No.11

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917  
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101  
URL:http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/



山梨県立中央大学と提携しています  
TOYO INTERFACE  
笛吹市議会だより No.11 16